

平成28年度4~6月の交通事故発生状況

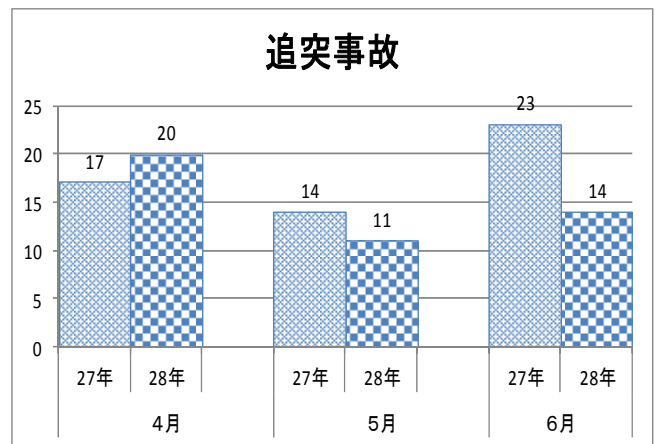
平成 28 年度第 1 四半期（4～6 月）の発生事故（平成 28 年 7 月 28 日現在の概数）の概況をお知らせいたします。

1. 対人事故

対人事故は 96 件発生し前年度比 9 件減で、その内、追突事故は 45 件発生し前年度と比べ 9 件減少しましたが、依然として、対人事故における追突事故は 46.9%を占めております。引き続き、前方への安全確認を励行され追突事故防止をお願いいたします。

表 1

区分		月			
		4月	5月	6月	合計
対人事故	28年	30	25	41	96
	27年	36	29	39	104
	増減	-6	-4	2	-8
追突事故	28年	20	11	14	45
	構成比	66.7%	44.0%	34.1%	46.9%
	27年	17	14	23	54
	構成比	47.2%	48.3%	59.0%	51.9%
	増減	3	-3	-9	-9

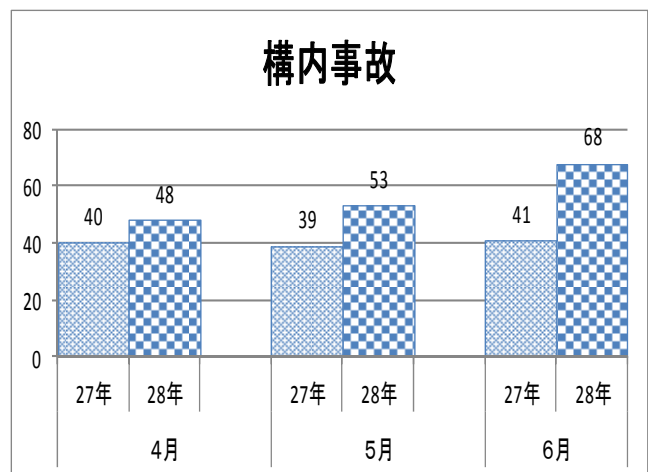


2. 対物事故および構内事故

対物事故は 447 件発生し、前年度比 57 件と増加しました。また構内事故は 49 件増加の 169 件と対物事故の 37.8%を占める結果となりました。引き続き、後退時の安全確認を励行され、構内事故の防止をお願いいたします。

表 2

区分		月			
		4月	5月	6月	合計
対物事故	28年	140	132	175	447
	27年	113	127	150	390
	増減	27	5	25	57
構内事故	28年	48	53	68	169
	構成比	34.3%	40.2%	38.9%	37.8%
	27年	40	39	41	120
	構成比	35.4%	30.7%	27.3%	30.8%
	増減	8	14	27	49



3. 構内事故の事故類型および事故原因

事故類型では、接触事故、駐車車両や工作物への衝突事故が大多数を占め、また原因別では、後退時の安全不確認やハンドル等操作不適當が大きな原因を占めております。

引き続き、構内事故を1件でも減少させるために、「構内ルールの徹底」「油断・急ぎ・焦りに注意」「安全は自分の目で最終確認」を合言葉に事故防止をお願いいたします。

表 3

区分 類型別		構内事故			
		28年4～6月	対前年同期比	28年6月	対前年同月比
車両相互	追 突	1	1	0	0
	接 触	30	5	11	7
	逆 突	8	-3	5	2
	その他衝突	1	-2	1	1
車両単独	駐車車両衝突	40	25	14	7
	工作物衝突	86	21	35	9
	その他衝突	3	1	2	1
合 計		169	48	68	27

表 4

区分 事故原因		構内事故			
		28年4～6月	対前年同期比	28年6月	対前年同月比
前方不注視		2	-19		-9
後退不適當		86	15	30	8
ハンドル等操作不適當		59	51	21	18
安全運転義務違反		14	-2	13	6
不明・その他		8	4	4	4
合 計		169	49	68	27

4. 28年度6月事故防止強化月の事故発生状況

平成28年度6月を事故防止強化月と定め、構内事故防止ポスターの送付や、「トラックドライバーの声」の配信等を行い、組合員の皆様へ一層の構内事故防止をお願いいたしました。28年度6月の発生事故の概況をお知らせいたします。

(1) 対人事故 (表1参照)

6月の対人事故の発生は41件と前年度比2件増加しました。その内、追突事故は14件と前年度比9件の減少となり、6月単月の対人事故に占める追突事故の割合は34.1%となりました。

(2) 対物事故 (表2参照)

6月の対物事故の発生は175件と前年度比25件増加し、同月の対物事故発生件数としては過去5ヶ年でも最多の発生件数となりました。また構内事故も68件と前年度比27件増加し、4月、5月と比べ大幅に増加し、6月単月の対物事故に占める構内事故の割合は38.9%と高い割合を示す結果となりました。

(3) 構内事故 (表3・4参照)

6月の構内事故の事故類型では接触事故、駐車車両や工作物への衝突事故が大多数を占め、また原因別では、後退時の安全不確認やハンドル等操作不適當が大きな原因を占める結果となりました。

※梅雨も明け、本格的な夏の暑さが続きます。ドライバーさんには体力的に厳しい時期ですが、熱中症対策など体調管理を始め、社内でのより一層の交通事故防止への取組みを推進いただけますよう、よろしくお願いいたします。